

### 3. 社会と向き合う

## ② 地域のオタスケに感謝して

#### 《ねらい》

○親や学校だけでなく地域の方の関わりのなかで子どもが成長していることに気づき、地域への感謝の伝え方を考える。

#### 《準備物》

- 主催者（学校等）：ワークシート
- 参加者：筆記用具

	時間 (60分)	主な活動	発言	留意点
導入	10	1. 学習のねらい		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     子どもの成長と共に親の関わる社会は広がっていると思いますが、子どもも同じように広い社会の中で成長しています。今日は、地域の方との関わりの中で、子どもがどのように成長しているのか考えてみたいと思います。その前に、ちょっとリラックスするために、簡単なゲームをしましょう。                 </div>		
展開		2. アイスブレイク ・パスデーライン	アイスブレイク編 P10 参照	
		3. ルールとマナーの確認		
	10	4. ワークシートに記入し、グループで話し合う。 ・子どもの頃の地域の人との関わりを思い出す。 <b>(ワーク1)</b>	4. 自分自身が子どもの頃に、地域の方から、どんな場面でもどんなことをお世話になったか、 <b>ワーク1</b> に記入してください。 どんな方がいらっしゃったかグループの中で紹介しましょう。	
	10	5. 地域でお世話になっている方をあげる。 <b>(ワーク2)</b>	5. <b>ワーク2</b> を記入しましょう。	
	10	6. グループで気持ちをどう伝えたかを話し合う。	6. 子どもの成長をオタスケしてくれた方が多くあがったと思います。その方にどのようにして気持ちを伝えたか、伝えられなかったでもよいです。話し合いをし、 <b>ワーク3</b> に記入しましょう。	
	10	7. グループ毎に発表する。	7. 様々なエピソードが出てきたと思います。良い話、気になった話、意外だった話を選んで発表してください。	・抽出グループでも可。
まとめ	5	8. ふりかえり	8. 今日をふりかえって、子どもの成長をオタスケしていただいた方について気づいたことや感じたことをワークにまとめてみましょう。	
	5	9. まとめ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     いかがでしたか、社会環境が変わってきたとはいえ、子どもが成長していくなかで、その成長をオタスケしてくれる方、その成長に関わってくださる方は、昔も今も身近におられるのだと思います。近年、見守りやボランティアなどで教育活動に関わる方も増えています。その方のモチベーションは、親や子どもからの感謝の言葉だと聞きます。良くしてもらった、ありがたかったというその方への感謝の気持ちが届くと良いですね。                 </div>	

## 地域のオタスケに感謝して

子どもの成長と共に子どもは、家庭・学校だけでなく、地域の方との関わりも増えていると感じている方もあるのではないのでしょうか。

また、親が気づきにくい場面で支援してくれた方もいるのではないのでしょうか。そんな方々に感謝の気持ちを込めて振り返りをしたいと思います。



### ワーク1

あなたの成長をオタスケしてくれた地域の方を  
考えてみましょう。

どんな場面で	どんなひとが	どんなことを

### ワーク2

今、あなたや子どもをオタスケしてくれている（くれた）方を考えて  
みましょう。

どんな場面で	どんなひとが	どんなことを
登校のとき 下校のとき		
学校行事や 部活やスポーツ、 習いごとで		
公民館や子ども会、 自治会、地域行事で		
その他		

### ワーク3

子どもの成長をオタスケしてくれた方に感謝の気持ちをどう届けるの  
か話し合みましょう。



《今日を振り返って》